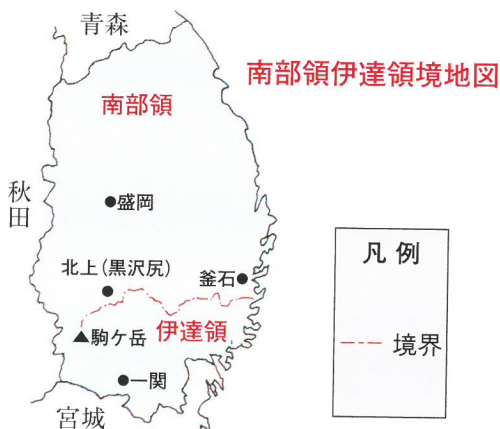


⑫南部領伊達領境塚 (国指定史跡)

寛永18(1641)年、徳川幕府の裁定により南部領・伊達領の境界が決定されました。このことを受け、奥羽山脈の駒ヶ岳山頂から太平洋の唐丹湾に至るまでの約130kmに及ぶ境界線上には、目印として塚が築かれました。これらの塚は、全国に類を見ない大規模な境界施設です。江戸時代初期の両藩の政治的緊張状態を示す貴重な遺跡です。

現在、市内ではみちのく民俗村内や、和賀町岩崎地区と相去町及び金ヶ崎町との境界部分で見ることができます。(平成12年1月31日指定)



天然記念物



(平成22年撮影)

⑬国見山廃寺跡 (国指定史跡)

北上山地西縁の国見山南麓に所在する平安時代の山岳寺院跡です。昭和38(1963)年に発掘調査が始まり、これまでに10~11世紀に設立された数多くの堂塔跡が確認され、北東北最大の古代寺院であったことがわかっています。北日本における仏教の展開や、当時の政治状況を考える上で、きわめて重要な遺跡です。(平成16年9月30日指定)

交通：北上江釣子ICから車で約30分
北上金ヶ崎ICから車で約20分



⑭夏油温泉の石灰華 (国指定特別天然記念物)

夏油温泉地内では、随所に温泉が湧出し、大小の石灰華の付着が見られます。その中でも、「天狗の湯」と呼ばれる石灰華の大ドームは、高さ17.6m、下底部の径は約25mに達し、国内における噴泉塔の中でも最大のものです。

指定範囲は「天狗の湯」の上流約47m地点から、夏油川と湯の沢との合流地点付近まで約23,415㎡に及びます。広範囲で大規模に発達した石灰華として貴重です。(昭和16年2月28日 天然記念物指定)
(昭和32年6月19日 特別天然記念物指定)

交通：北上江釣子ICから車で約60分